



2022年11月

ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員 活動報告

(1) 望月 徹

●サカイ引越センターでの社長プレゼンテーションの実施

「サカイ引越センターの今後の成長戦略」の調査・研究報告を次のとおり実施した。

- (1) 日 時 2022年11月24日(木) 9:00~11:00
- (2) 場 所 サカイ引越センター会議室
- (3) 相手方 代表取締役社長 田島哲康、常務取締役 山野幹夫、執行役員経営企画
企画責任者 笠原悟志、経営企画部執行役員 成田稔、執行役員 事業本
部長 立川睦史 社長室長 安部典之 ほか
- (4) 報告者 望月ゼミ3年生：石坪菜々美、井筒咲羅、内田さくら、尾中凜音、
金巨莉歩、薄田智広、田邊大登、堤谷太陽、西井柊真、福田はるか、
益田恭輔、増田晴香、松井響、光野颯哉、森祐介、山本紗彩

(5) 講 評

- ・当社は、創業時から、OODA（ウーダグループ）を実践してきた企業である。今回の考察は、当社の特徴をよくおさえている。
- ・いずれの提案も刺激的でワクワクした。しかも、当社の既存のリソースを活用した、すぐにでも実施可能なもので、かつ、遊び心のある、新たな発想の宝庫である。斬新で勉強になった。
- ・「地域の魅力発信伝道師」、「出会い」を運ぶという視点からの「地方との共生」は我が社にとっても、次なる成長機会になる。今回の提案を踏まえ、地域や自治体をはじめ、様々なステークホルダーと協業関係を構築し、更なる成長を遂げたい。



×



=

輝く未来

11月24日 サカイ引越センター本社で社長プレゼン実施



×



=

輝く未来

プレゼンへの主なコメント

皆さんからの**刺激的な提案でワクワクしている**。
今回の提案は、日常的で身近なものであって、
かつ、**遊び心のある新たな発想の宝庫だ**。

マッチョ、女性ドライバーなどは、視点が全然
違う。遊び心、身嗜み、ファッション性、いず
れの視点も**新新で勉強になった**。

新たな情報発信の提案も時代の最先端、いろんなことができるんだなあ
と感心した。身近なことを気軽に発信することの大事さがわかった。特に、
「**地域の魅力発信伝道師**」という言葉が気に入った。子供のトラック体験
もワクワク感があり、地域の方々と触れ合いことができる。

創業以来、当社は、先にプランを立てることを前
提としたPDCAを回す以前に、現場からは待た
なしに課題を突きつけられ、それを都度解決して
きた。その意味では、当社は、**創業時から、
OODAを実践してきた企業と言える**。今回の考
察は、当社の特徴をよくおさえている。

「**出会いを運ぶ**」という視点も良い。地方情報発信
は我が社にとっても、**次なる成長機会になる**。どうし
ても、我々の発想だと、「敵を見つけて勝つ」という
発想に陥りがちだが、そうではなくて、自ら進んで手
を組みに行って、一緒にやって、次のステージに行く
ことの重要性がわかった。



(2) 奥野 明子

●「人財創造フォーラム」第134回定例研究会

2022年11月16日開催

奥野明子「産休・育休からの復職者のマネジメントー多様な働き方が可能な社会を目指してー」講演。

●西宮市男女共同参画推進課主催「管理職に求められる「ダイバーシティマネジメント」を学ぶ

2022年11月28日開催

企業などの管理職を対象として、育児や介護などで一時的に休業や時短などの変則的な働き方をする部課のマネジメントについて、講師を務めました。

(3) 古田 美保

●税務会計研究学会第34回全国大会

特別委員会報告「デジタル社会と税務会計」(最終報告)第3章「暗号資産の会計上の資産分類と税務」

●「収益認識会計基準における「履行業務の充足」と法人税務における「引渡し」」
『収益課税の論点(日税研論集82号)』125-149頁

(4) 西村 順二

●西村順二研究室3年ゼミ生が、コープ神戸との共同研究の打合せを兼ねて、賀川記念館(神戸市中央区)の視察をおこないました。

2022年11月1日(火)13:00-14:30 賀川記念館・セミナー室

神戸新聞社Mラボに基づく共同研究を進めている西村ゼミ3年生が、コープ神戸の創設者である賀川豊彦氏の生涯に関する資料を展示している賀川記念館を訪問し、館長からその人生の活動について講義を受け、その後施設の視察、そしてコープ神戸の方々との打ち合わせを行いました。



- 西村順二研究室 3 年ゼミ生が、神戸市と進めてきた神戸市ふるさと納税の活性化に関する共同研究の様子が朝日新聞に掲載されました。

2022 年 11 月 3 日（木）朝日新聞 朝刊

西村順二研究室 3 年生がこれまで進めてきた神戸市との共同研究の成果が朝日新聞（朝刊）に掲載されました。ノスタルジーと SDG s という 2 つの視点から提案された返礼品が紹介されています。

- 西村順二研究室 3 年ゼミ生が進める神戸市との共同研究の成果が神戸新聞に掲載されました。

2022 年 11 月 5 日（土）神戸新聞 朝刊

経営学部西村順二研究室 3 年ゼミ生が神戸市との共同研究を行い、若者の視点に基づき返礼品の提案を行いました。

神戸新聞 NEXT

<https://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/202211/0015781150.shtml>

- 西村順二ビジネス・イノベーション研究所長が、大阪府経営合理化協会主催の二世経営者の勉強会「経営二世塾アドバンス」でアドバイザーを務めました。

2022 年 11 月 11（木）13：00－17：00 エルおおさか南館 71 号室

大阪府経営合理化協会主催の若手二世経営者の勉強会「二世塾」（2 年コース）で学んできた二世経営者に向けてのアドバンスコースが開催され、西村順二ビジネス・イノベーション研究所長がアドバイザーを務めました。このアドバンスコースは 1 年コースで、合計で 11 回の学びの場が設けられています。西村順二所長は、この 11 回にわたりアドバイザーを務めています。

- 西村順二研究室 4 年ゼミ生が、恒例の豚饅サミットに参画しています。11 月 10 日の前夜祭で創作豚饅についての発表を行いました。また、週末の豚饅サミットでは、創作豚まんを販売し、両日ともに午前中で完売する成果を得ました。

2022 年 11 月 10 日（木）17：00－20：00

フェリシモ本社（新社屋ビル）

2022 年 11 月 12 日（土）・13 日（日）10：00－13：00 神戸南京町

西村順二研究室では、毎年神戸豚饅サミットに企画参加しています。今年も、新たな豚饅をイメージして、マーケティング・ロジックに基づき製品開発を行いました。その発表会が当日、新港突堤のフェリシモ新社屋において開催され、西村



ゼミ 4 年生も参加してきました。

また、週末には創作豚まんを販売し、例年通り大きな行列ができる中、両日ともに午前中に完売する成果を得ました。

- 西村順二研究室の 3 年ゼミ生が姫路市の研究公募にエントリーし、採択されています。姫路市の研究助成を受けて「播磨の実力：ミリョク」に関する研究を進めています。その中間発表会が姫路市で開催されました。

2022 年 11 月 17 日（木）10：00－12：00 姫路市福祉センター 会議室

西村順二研究室の 3 年ゼミ生が行っている姫路の活性化策として、インナーブランディングに着目し、新たな地域の魅力発見を行っています。これまでに視察やヒアリング調査を行い、サーボイス・マーケティングの手法に着目した研究を進め、中間発表を行いました。その方向性については、了解を得て、今後最終発表に向けてさらに研究を進めていきます。

- 西村順二所長が、日本商業学会において学会発表を行いました。

2022 年 11 月 19 日（土）13：30－17：00

大阪公立大学大阪駅前第 2 ビル 文化交流センター

西村順二ビジネス・イノベーション研究所長が、日本商業学会関西部会 11 月例会において、セッションのコーディネート共に、学会発表・パネルディスカッションおコーディネータを務めました。有機野菜やオーガニック食料品の生産・流通・消費における諸問題について議論が深められました。

以上